

まいづる元気人 Vol.73

目標は90歳で世界最高記録

泉源寺にあるビートスイミングクラブに所属し、マスターズコースで週に3~4日、1日約2kmを泳ぎ、競泳の練習を重ねる。87歳を迎えた今でも現役スイマーだ。そんなスーパースイマーの亀井さんに記録に挑戦し続けられる秘訣などを教えてもらった。



マスターズ世界記録更新スイマー
かめい よしなお
亀井 美尚 さん

85歳で世界最高記録
全長25歳のプールを力強く颯爽と泳ぐ姿がある。2018年5月に行われた日本マスターズ水泳短水路大会の85歳〜89歳の部200m個人メドレー（バタフライ）で背泳ぎ↓平泳ぎ↓自由形の順で各50mを一人で泳ぐ種目で3分48秒20の世界最高記録を樹立した亀井さんだ。一人ひとりの年齢能力に応じた目標を持ちながら、水泳を生涯スポーツとして楽しむことを目的とした日本マスターズ水泳のランキングは常連。水をかき分けるその姿は美年齢を感じさせず、常に新たな目標を持ち、達成するために努力を続ける姿が評価され令和元年度日本スポーツツグランプリを受賞。ほかに市の優秀スポーツ賞や府のスポーツ賞、マスターズ賞などこれまでの受賞歴は数知れない。

並んだ優勝カップを見て

高校卒業までは舞鶴で育ち、当時は陸上競技で走り幅跳びの選手として活躍していたが、けがで断念。家が農業をしてい

運も美力のうち

競技を開始してからは数々の日本記録を更新。75歳の時には海外遠征で、オーストラリアのパースで開催された第12回FINA世界マスターズ水泳選手権大会に出場し、日本記録で3位に入賞した。「ここまで結果が残せたのは、周りの環境や良い指導者と巡り会えたから。運が良かっただけです」と話す。もちろん、自分で練習メ



▲ 87歳とは思えない見事なフォーム

たこともあり、農業関係の大学に進学。卒業後は市外の大手企業に就職した。会社では営業を担当し、日本全国を回った。営業担当という事で常に目標やノルマを意識し仕事をしてきた。プールに通い始めたのは、40歳ごろ。腰のヘルニアを発症し、医者に運動不足を指摘されたことから。本格的に競技を開始したのは60歳。定年退職し舞鶴に帰郷してからだ。スクールの仲間にも勧められ初めて出場した北近畿地区の大会で、並んでいる優勝カップを目にしたとき、記録を目指したいという思いが芽生えたそうだ。

ニューを考え、精神力を鍛えるためにと座禅や陶芸を行うなど、本人の頑張りなしではこのような成績を残すことができないのは言うまでもない。長く続けられる秘訣を聞くと「好きなこと、集中できることを持つのはもちろん、ただやるだけでなく達成感を味わえる高い目標を持つことが大切だと思えます。営業の仕事で培った目標設定やノルマが今も生かされているんです」と教えてくれた。

記録に向かって泳ぎ続ける亀井さん。体力や技術が落ちても精神力だけは負けない」と話す。その強い精神力でこれからも記録に挑み続け、力強い泳ぎを見せてほしい。

まいづる 花図鑑

vol.160



ツリガネツツジ (ウスギヨウラク) (ツツジ科)

本州（山梨県・石川県以西）や徳島県の山地の林縁に生える高さ1~2mの落葉低木。葉は、枝先に集まって互生し、長さ3~5cmの長楕円形で先はとがる。春、葉の展開とともに枝先に数個の黄緑色の花を付ける。花柄は長さ2cm、線毛がある。花は筒形で長さ1.2~1.5cmほどで先端が紅紫色を帯びることがある。

名前の由来は、花が釣鐘に似ていることから。別名ウスギヨウラクは、仏像の装飾に使われる瓔珞に見立てたもの。

【協力】 瓜生勝朗/市文化財保護委員（植物分野）

水洗化50周年記念

たくさんの参加 ありがとうございます!!

東は北海道、西は広島県まで。舞鶴初となる『下水道の街歩きイベント』に全国各地から238件の参加がありました。インスタ映えしたマンホール蓋の写真とともに「舞鶴の名所を巡って良かった」「色・柄・デザインが素敵でまちが明るくなります」「マンホールカードも欲しい」などの感想が続々と届きました。皆さんから送られてきた写真を紹介します。「市民の皆さんに下水道の大切さを届けたい」。今後も引き続き積極的に下水道を広報します。
《下水道PRプロジェクトチーム》